

2018年度

研究業績報告

(50音順)

阿久戸 義 愛

共著

「バルトにおける近代主義批判と新しい福音理解」『福音とは何か—聖書の福音から福音主義へ—』
教文館, 2018年9月, 254-279頁。

エッセー

「なぜ、今、バルトを読むのか」新教出版社『福音と世界』2018年12月号(特集「カール・バルトと現代—没後50年に寄せて」), 18-23頁, 2018年12月。

学会発表

「バルトの近代主義批判」キェルケゴール協会 第19回学術大会シンポジウム提題(於: 東洋大学),
2018年7月1日。

川 島 堅 二

論文

「近現代の福音—シュライアマハー『宗教論』が問いかけるもの」: 佐藤司郎・吉田新編『福音とは何か—聖書の福音から福音主義へ』教文館 2018年 232-253頁

エッセー

「オウム事件 死刑執行ではなく再発防止のために」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉
2018年4月11日)

「10年経てもなお消えぬ「摂理」への懸念」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉2018
年5月21日)

「カルト被害の現実に直接向き合って」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉2018年7
月1日)

「広瀬元死刑囚の手記が語り続けるもの」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉2018年
8月1日)

「奴隷制の歴史から「人間の尊厳」に向き合う」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉
2018年10月1日)

「性的「指向」は「矯正の対象」か?」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉2018年11
月11日)

「多様なセクシャリティーの気づきへ」(『キリスト新聞』〈宗教リテラシー向上委員会〉2019年1
月21日)

講演

「出口王仁三郎『霊界物語』とキリスト教」(東北学院大学文学部総合人文学科公開講座, 2018年
7月21日)

「いわゆる霊的体験の落とし穴」(東北学院大学文学部総合人文学科主催教職研修セミナー, 2018
年9月3日)

その他(新聞等コメント)

「危険な集団の特徴手記に」(『東奥日報』2018年7月31日)

「獄中で再発防止願う」(『宮崎日日新聞』2018年7月31日)

「再発防止の一助に」(『岐阜新聞』2018年7月31日)
「危険な教えすぐそこに」(『四國新聞』2018年7月31日)
「危険な教え、今もすぐそこに」(『山口新聞』2018年8月1日)
「平成30年史〈中〉第12部オウム真理教事件」(『産経新聞』2018年12月25日)

北 博

論文

「旧約聖書における罪と赦し—預言者の視点から」(『福音宣教』2018年8・9月号, オリエンズ宗教研究所)

書評

堀川敏寛著『聖書翻訳者ブーバー』(新教出版)の紹介と批評(『図書新聞 第3361号』, 2018年7月28日)

シンポジウムのコメンテーター

Stephen Kepnes, “Postmodern Biblical Hermeneutics”への講演コメント(ケブネス来日記念シンポジウム, 京都大学, 2018年4月21日)

エッセー

DVD『手塚治虫の旧約聖書物語』公式スペシャルガイドブック所収, 「リアル旧約聖書×手塚聖書」「リアル新約聖書×手塚聖書」(全26話), 「特別寄稿 解説コラム「リアル旧約聖書×手塚聖書」の執筆を終えて」(教文館, 2018年10月30日)

特別企画 巨匠が手がけた最後の大作!手塚治虫の旧約聖書物語, 「コラムを執筆して 本作品との出会い」(『本のひろば』2019年3月号)

木 村 純 二

論文

「日本におけるキリスト教土着化の課題」, 東北学院大学学術研究会『人文学と神学』第15号, 1-11頁, 2018年11月

「歌語としての「みたま」(一)」, 『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』第23号, 2019年3月

学会発表

「物語は何を表現し得るか?—その起源から変質まで—」, 日本倫理学会第69回大会(於: 玉川大学) 主題別討議「物語という方法」, 2018年10月6日

講演

「日本におけるキリスト教土着化の課題」, 東北学院大学文学部総合人文学科公開講座「キリスト教と日本の宗教思想」(於: 東北学院大学土樋キャンパス), 2018年7月21日

鐸 木 道 剛

論文

「8世紀イコン論における〈もの(res)〉と〈しるし(signum)〉」(『カルヴァン研究』第1号, 日本カルヴァン研究会, 2018年6月1日, 85-96頁)

「イコンの無名性をめぐって」(『中世美術の諸相』(ヨーロッパ中世美術論集5) 竹林舎, 2018年7月1日, 202-216頁)

「ジョン・ラファージ: 天と地をつなぐ」(『キリスト教文化研究所紀要』第36号, 2018年6月, 41-56頁)

Икона «Воскресение Христово» К. Штейбена в Японии и несколько замечаний о Русских иконах в Японии, в Кафедре Исаакиевского Собора, *Сборник научных статей*, 2018, стр. 107-119.

「〈福音〉の帰結としての〈芸術〉」(『福音とは何か: 聖書の福音から福音主義へ』 教文館, 2018年9月10日, 427-452頁)

「近代イコンと芸術」(『2018年冬季セミナー: イコン—神の国を顕す』 西日本主教区, 2019年2月,

1-15 頁

研究ノート

「セルビアの中世ビザンティン壁画—パリサイ人と徴税人の譬話の絵画化」『プリヤテリ』（日本セルビア協会会報）第 52 号，2018 年 7 月，2-4 頁

学会発表

Vassa Kontouma (EPHE-PSL/IFEB) 講演「ダマスコのヨハネの時代における宗教的相生のあり方：内包と排除 (Inclusion, exclusion, and ways of religious coexistence in the era of John of Damascus)」に対する特定質問 (For the Lecture by Vassa Kontouma “Con-Viviality in Matter”) (2018 年 10 月 27 日，於：東京大学駒場キャンパス 18 号館 4 階コラボレーションルーム 1)

講演

「東方正教会の霊性」第 12 回教職 (牧師・聖書科教師) 研修セミナー「キリスト教とマインドフルネス・霊性」(2018 年 9 月 3 日，於：東北学院大学 土樋キャンパス 8 号館 3 階，第 3・4 会議室)

「ステンドグラスの修復：その before と after」第 19 回東北学院ホームカミングデー「きれいになったステンドグラスを見よう」記念講話 (2018 年 10 月 13 日，於：東北学院大学ラーハウザー記念東北学院礼拝堂)

「山下りんが日本の人たちに伝えた福音」キリスト教文化セミナー 2018，キリスト教と美術講演会 (2018 年 10 月 24 日，於：日本キリスト教団，東北教区センターエマオ)

「アイドル (偶像) からアイコン (聖像) へ：芸術と科学と現実生活を支える受肉」東京大学学生基督教青年会関西 OB 会 (2018 年 11 月 10 日，於：神戸 YMCA 三宮会館 2 階 208)

「神が見えるという逆説」東北学院大学キリスト教文化研究所研究フォーラム 2018 「ロマネスクからゴシックへ：見えない神から見える神へ」(2018 年 11 月 24 日，於：東北学院大学押川記念ホール)

「模写と無名性：天と地をつなぐ」西南学院大学博物館企画展関連公開シンポジウム「東方キリスト教との出会い」(2019 年 2 月 2 日，於：西南学院大学博物館 2 階講堂)

「ステンドグラス：地上の天国」東北学院大学私立大学研究ブランディング事業シンポジウム「ジョン・ラファージの中世主義：ジャポニスムとステンドグラス復興」趣旨説明 (2019 年 2 月 23 日，於：東北学院大学ホーイ記念館ホール)

出 村 みや子

論文

「オリゲネスのパウロ解釈とルターへの影響」、『福音とは何か—聖書の福音から福音主義へ—』教文館，2018 年，115-145 頁

学会発表

Exegetical Tradition of the Sarah-Hagar Motif in Alexandria (Kolloquium “Die Bibel und die Frauen”, in Universität Wien, 20 Februar 2019)

シンポジウム報告

提題「アウグスティヌスの原罪論におけるオリゲネスの聖書解釈の影響」、『中世思想研究』第 60 号，2018 年，98-106 頁

野 村 信

共著

『新キリスト教組織神学事典』東京神学大学神学会編 教文館 2018 年 3 月 23 日 「永遠の命」, 「体の甦り」の項目担当。

『カルヴァン研究』創刊号 特集「ものとしるし」編集・執筆，日本カルヴァン研究会発行 (ヨベル社，2018 年 7 月) 「カルヴァンにおける『もの』と『しるし』聖書解釈における視座」97-112 頁。

『福音とは何か—聖書の福音から福音主義へ』（佐藤司郎, 吉田新編）教文館, 2018年9月, 第II部, 第2章「カルヴァンの福音理解」(174-200頁担当)。

学会・講演会発表

“Biblical Interpretation: *res et signum* — Augustine, Erasmus and Calvin,” presented in the 11th International Congress on Calvin Research in Westminster Theological Seminary in Philadelphia, USA, August 27, 2018.

「M・Luther 以後の J・Calvin の宗教改革の特色」講演 1「神学的展開—聖書と教理」講演 2「教会の実践—教会と聖餐」連合長老会全国教師会, 大阪ガーデンパレス, 2018年12日, 13日

原 田 浩 司

共著

『福音とは何か—聖書の福音から福音主義へ』（佐藤司郎/吉田新編）, 教文館, 2018年9月, ISBN: 9784764261372 (第II部 第3章「スコットランドにおける「福音主義」の展開」, 199-229頁を執筆)。

論文

「連合長老教会の『アイデンティティ』とウェストミンスター」, 『季刊教会』No. 112, 日本基督教団改革長老教会協議会神学研究所, 2018年9月, 32-44頁。

翻訳（共訳）

デヴィッド・ディクソン著, 『長老—そのつとめと実践』（共訳者: 石田静江）, 一麦出版社, 2018年9月, ISBN: 9784863251168, 総150頁。

エッセー

「キリスト教大学と教会の課題」, 『日本基督教団改革長老教会協議会ニュース』第79号, 日本基督教団改革長老教会協議会, 2018年7月, 4頁。

藤 原 佐和子

論文

「ラテンアメリカのエコフェミニスト神学とイヴォネ・ゲバラ—*Longing for Running Water* (1991年)を中心に—」『基督教研究』, 基督教研究会（同志社大学）, 第80巻第1号, 2018年, 39-58頁。

「『福音主義』とエキュメニカル運動における教育的実践—エキュメニカル・フォーメーションとは何か—」佐藤司郎編『福音とは何か—聖書の福音から福音主義へ—』教文館, 2018年, 280-309頁。

「アジアの文化的コンテクストにおけるエコフェミニスト神学—*In God's Image* (1991年~2006年)の事例から—」『人文学と神学』（東北学院大学）第15号, 2018年, 13-34頁。

雑誌論考

「WCC 世界宣教伝道会議をタンザニアで開催—「女性のエンパワーメント」の招きをどのように受け止めるのか—」『キリスト教文化』2018年春号, かんよう出版, 157-158頁。

「若い人々に仕えることへの招き—アジア・エキュメニカル青年総会（CCA）於北スラウェシ州マナド（インドネシア）—」『福音と世界』2018年9月, 新教出版社, 36-37頁。

「『真に包括的な教会』のために共に歩く—2018年アンブリファイ参加報告（於台湾）—」『福音と世界』2019年2月, 新教出版社, 38-39頁。

発表・講演

“Changing Family Value and Culture in Japan: Problems Face by the Youth Today,” *Asian Ecumenical Youth Assembly*, Christian Conference of Asia, Grand Kawanua International Convention Center, Indonesia, April 10, 2018.

“Sexuality in an Ecumenical World,” *Asia Regional Consultation on Human Sexuality and Reproductive Health*, Christian Conference of Asia, Action Together in Combating HIV and AIDS in Asia, Chiang Mai, Thailand, August 17, 2018.

- 「アジアにおけるエキュメニカル運動の現在—アジア祈祷日 (Asia Sunday) を記念して—」アジア・エキュメニカル週間, 於日本基督教団西仙台教会, 2018年5月13日。
- 「現代のキリスト教とジェンダー/セクシュアリティ—#MeToo 以後を考える—」東北学院大学第44回サマーカレッジ「キリスト教と現代—もっと身近なキリスト教—」, 於アクティブリゾート宮城蔵王, 2018年8月4日。
- 「『アジアの女性たちの神学』におけるエコフェミニスト神学の萌芽—*In God's Image* 誌の事例から—」『日本基督教学会』第65回大会, 於南山大学, 2018年9月11日。
- 「若手研究者イニシアティブ委員会企画『キリスト教研究者に必要なスキルを考える』—海外フィールドワーカー—」『日本基督教学会』第65回大会, 於南山大学, 2018年9月11日。
- 「旅路を共にする—エキュメニカル運動の歩き方—」日本基督教団, 第17回教区教師継続教育講座, 於奥羽キリスト教センター, 2018年11月9日。
- 「『神の家族』のメンバーは誰?—女性神学者の視点から—」日本基督教団, 岩手地区教育集会, 於日本基督教団新生釜石教会, 2018年11月10日。

吉 田 新

著作

- 「死者への福音? 第一ペトロ書における〈福音〉理解」, 佐藤司郎/吉田新編『福音とは何か 聖書の福音から福音主義へ』, 教文館, 2018年, 93-114頁

論文

- 「長老たちへの勧告—Iペトロ書5章1-5a節に関する考察—」, 「東北学院大学キリスト教文化研究所紀要」36号, 2018年6月, 21-39頁
- 「文語訳改訳, 共同訳聖書翻訳資料について」, 「New 聖書翻訳 No. 4 (2018.8)」, 日本聖書協会, 69-85頁

報告・研究ノート

- 「聖書翻訳 未来への遺産」, 『聖書事業懇談会講演録2』, 日本聖書協会, 2018年8月, 29-46頁
- 「罪の告白と回心の意義 洗礼者ヨハネとイエスの使信」, 『福音宣教』3月号, 2018年2月, オリエンズ宗教研究所, 30-36頁
- 「聖書における死と死後の世界」, 『説教黙想アレテシア 特別増刊号 死に勝つ慰め 葬儀説教をいかに語るか』, 日本キリスト教団出版局, 2018年2月, 10-13頁

発表

- 「聖書協会共同訳への道—日本聖書協会所蔵 聖書翻訳資料を手がかりに—」日本基督教学会東北支部 2018年6月16日
- Die Problematik bei der Bibelübersetzung ins Japanische. Untersuchung zu historischen Dokumenten der Japanischen Bibelgesellschaft, Deutschsprachiger Japanologentag, 30.8.2018.
- 「模範としてのキリストの苦難—Iペトロ書における苦難の意義—」, 東北学院大学研究ブランディング事業シンポジウム「苦難と救済—パウロにおける苦しみの意義—」2018年10月12日